

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2026年度 パフォーマンス向上会議情報(2026年6月9日(火)分)

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。当発電所では、社内の会議体(パフォーマンス向上会議)において「不適合」と判定したすべての事案を本ホームページで公表しています。

2026年6月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【管路調査における放射線管理上の不備について】 協力企業作業員が、発電所構内コア倉庫付近で、通信ケーブル敷設に向けた管路調査を実施した。調査終了後、登録センターでの汚染検査において作業員5人の手や肘等に放射性物質の付着が確認されたことから、放射性物質を拭き取り、全員が退域基準を満足して退域した。 作業前に当該作業エリアの汚染状況を確認し、適切なエリア設定や防護装備を決める必要があったが、作業前の汚染状況確認がなされていなかった。 今後原因の詳細調査を行うとともに再発防止策の検討を行う。</p>	G II	6月4日
2	<p>【雑固体廃棄物焼却設備(A)における 自動倉庫(A)クレーンの不具合について】 協力企業作業員が、雑固体廃棄物焼却設備(A)において自動倉庫(A)のクレーンに異常を示す警報が発生したことを確認。 現場確認したところ、クレーンのフォークが伸びた状態で停止しており、クレーンのフォークを駆動するチェーンが破損していることを確認。 クレーンの即時復旧が困難であるため、雑固体廃棄物焼却設備(A)の運転を停止。 なお、雑固体廃棄物焼却設備(B)が運転中のため、焼却に影響はない。 今後、破損したチェーンの交換を実施するとともに、定期的にチェーンを交換する。</p>	G III	6月3日